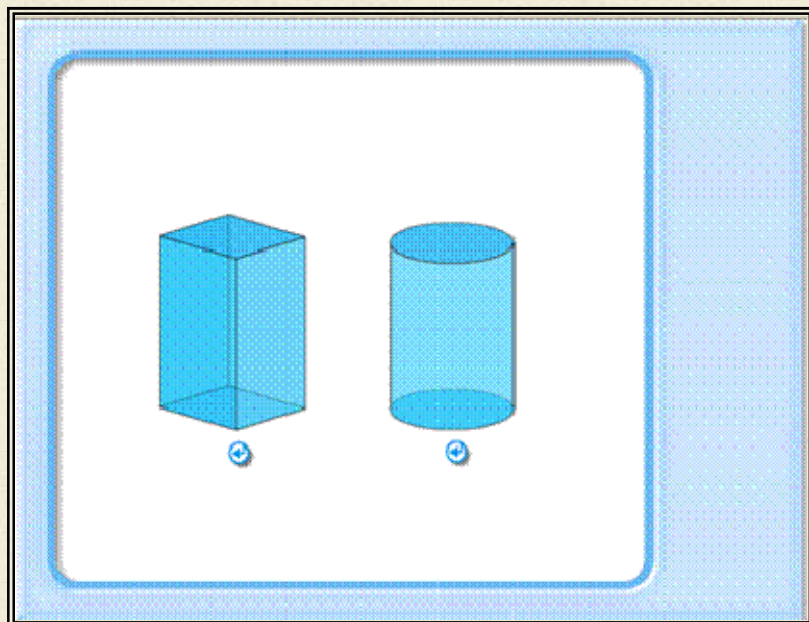


小学校

s5-16

5学年

角柱・円柱



【ねらい】

角柱や円柱について理解する。

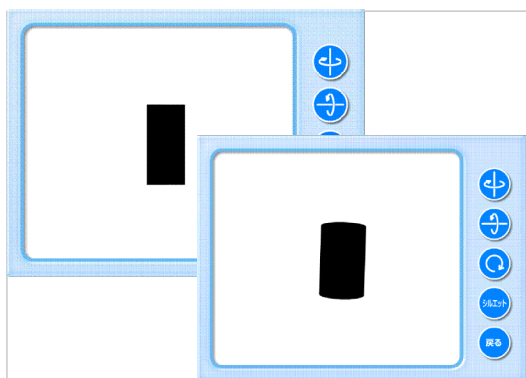
【特徴】

- ◇ 四角柱、円柱の2種類を選択できます。
- ◇ シルエットにすることができます。
- ◇ 3種類の軸で回転させることができます。

【関連する単元】

- ◇ 中学1年「空間図形(投影図)」

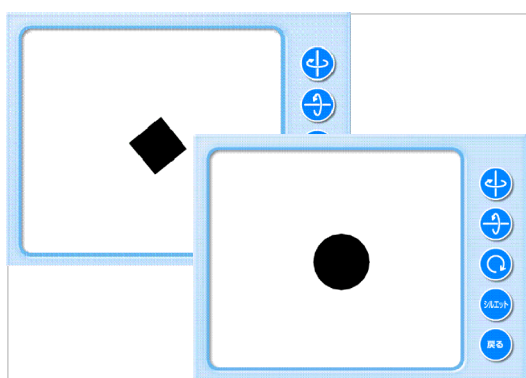
【活用場面】 算数的活動の後の検証、知識・技能の定着



柱体の分類は、底面の形によってなされることを理解させるのに有効です

角柱と円柱をシルエットで対比的に捉えさせることができるので、立体図形を考察させる視点を明確に持たせることができます。

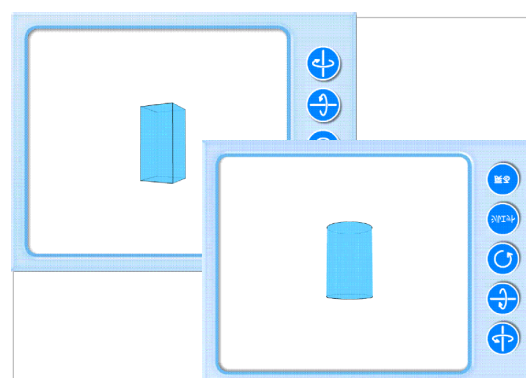
- ◇ 立面図としてシルエットを提示し、それぞれどんな形か発表させます。
- ◇ 立面図としては、角柱も円柱も長方形なので、どちらか判断がつかないことをおさえます。



- ◇ シルエットを回転させ、底面のシルエットを見せます。

(回転させている途中経過を見せない工夫をする方が更によい。)

- ◇ どのような立体か判別できたかを問います。
- ◇ 判別できた根拠を答えさせます。
- ◇ 立体図形(柱体)の分類は、底面の形によってなされていることをおさえます。



構成要素に着目させるのに有効です

児童に立体模型を持たせ、構成要素の数や位置関係を調べさせる算数的活動に取り組ませた後の確認ができます。

- ◇ 角柱、円柱それぞれの頂点、辺、面の数等を、立体を回転させながら数えていきます。
- ◇ 底面どうしの位置関係や側面と底面の位置関係などについても確認します。
- ※ 確認は、画面の映像だけで済ませるのではなく、児童一人一人に立体模型を持たせ、操作させることが重要です。